



雨水利用を進める全国市民の会
会長 辰濃 和男

〒131-0032 東京都墨田区東向島1-8-1
TEL: 03-3611-0573
FAX: 03-3611-0574
H.P: <http://www.rain-water.org/>

8月5日(土曜日)開催

2000・雨水フェアinすみだ

「準備および当日のお手伝いをお願いします」

「市民の会」では8月5日午前10時から5時、すみだリバーサイドホールで「2000・雨水フェア」を開催します。テーマは都市型の短期集中豪雨です。これに対する雨水利用はどこまで有効なのか。どうしたら、街を強く豊かにできるのか。各分野の専門家を招いてともに考えたいと思います。

すみずみまでコンクリートで覆われ、長靴などいつしか不要になってしまった私たちの街。時に激しくふりそそぐ集中豪雨は、今後、増えてゆくだらうという研究者の予測が新聞などに掲載されています。

先だってNHKで放映された、地下室の水没事故を検証した、貴重なビデオを買い求めることができました。朝10時10分から上映しますので、ぜひご覧いただきたいと思ます。

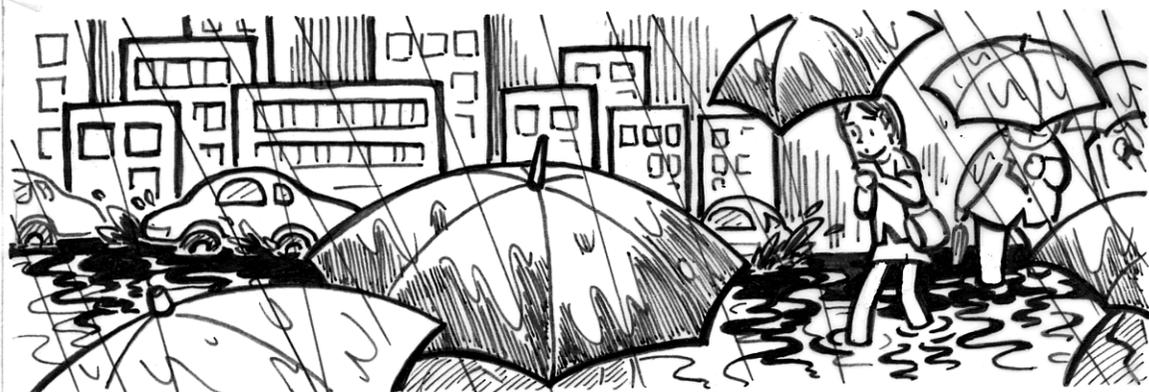
建設省、下水文化研究会のお二人による

「基調報告」や「市民からの提案」もあります。村瀬事務局長が雨水利用の有効性についての具体的かつ画期的な提案を行なう予定です。

墨田区がICLEL(国際環境自治体協議会)による国際自治体環境賞の優秀賞を受賞したことはすでにお知らせしました。6月29日にドイツで行われた授賞式には墨田区長が出席しました。

雨水フェアでは墨田区のこの受賞とともに喜び、祝いたいと思います。貴重な受賞です。皆さんも今後、大いに宣伝して下さるようお願いいたします。

あますところあと1ヶ月。準備や当日の会場係など引き受けて下さる方は、ぜひ事務局へファクスでご連絡下さい。そして当日、どうか友人知人をできるだけたくさんお誘い下さるようお願いいたします。



部会を、皆が参加できるプロジェクト制に

2000年度 総会報告

◆ 代表幹事 山本 耕平

5月30日に雨水利用を進める全国市民の会の総会が開かれました。その概要を報告します。

まずはじめに、1999年度の活動報告と決算報告ならびに監査結果報告がありました。昨年度の主な事業として、8月7日に開催した「国際協力・雨水利用アジアセミナー」、9月に行った「中国、バングラデシュの雨水利用、国際協力支援事業」、「雨暦」の発行、各部会活動が報告されました。

アジアセミナーでは、台湾の李士睦氏とバングラデシュで活動している建築家の安部良氏を招いて、アジアの雨水利用の実態や国際協力の可能性について議論しました。

中国、バングラデシュの国際協力プロジェクトについては、今回はその可能性を検討するための現地調査にとどまっていますが、中国水利研究所とは都市と農村の雨水利用の普及に共同して取り組むことが合意されており、バングラデシュについても現地政府とのパイプができたことで、新年度以降に具体的な事業化を進めてゆく予定です。

各部会報告以外に、雨の講座、「雨の事典」の編集作業の進捗状況、新宿区落合の地下室水没事故の調査などの活動が報告されました。

活動報告、決算報告ともに承認され、新年度の活動方針の検討に入りました。

まず幹事会から、これまで各部会（教育、情報、広報、技術）ごとに活動方針を立てて予算を計上していましたが、部会に属さない様々なプロジェクトが動いていることから、新年度からはプロジェクトごとに予算を計上する方針が提案されました。部会に対しても

取り組む個々のプロジェクトごとに予算を計上するという考え方で、各プロジェクトの活動成果は年度ごとに評価して翌年度の予算につなげてゆきます。

プロジェクトは、会の運営の基本となる「経常活動」と、国内で展開する「国内プロジェクト」、国際協力などの「海外プロジェクト」の3つに分け、経常活動ではニュースレター発行、ホームページの運営という従来の事業に加えて「年間活動レポート」の発行が提案されました。

国内プロジェクトでは技術部会が担当する技術調査と普及、雨水探検隊（墨田区内の学校に水稻の苗配布など）、雨の事典編集、雨暦発行、雨の講座開催、雨水フェアなどが提案されました。雨水フェアは8月5日に開催、テーマとして昨年大きな被害をもたらした都市型洪水と雨水利用を取り上げることになりました。

海外プロジェクトは1999年度の海外調査報告書の発行とバングラデシュでの国際協力活動が提案されました。

活発な議論のあと、活動方針ならびに予算案はほぼ原案通りに承認され、新年度の活動に入ることになりました。



雨水利用連続講座 【パートII】

第1回「トイレの雨水利用は是か非か」

日時 2000年10月7日 午後5時～8時30分

場所 神田学士会館 TEL 03-3292-5931

講師 山本耕平さん

費用 1500円(夕食付き)

昨年11月、「市民の会」の特別セミナーで講演されたUnoさんの「コンポスト・トイレこそ環境にやさしいライフスタイルである」という問題提起を受けて、今後のトイレ問題と雨水利用について考えていきます。山本さんは日本トイレ協会で長年活動しておられるトイレ問題の専門家です。

あまみず坊やのTシャツはいかがですか？



7月に入りました。梅雨が明ければ真っ盛りの夏です。ぎんぎらと輝く太陽の下でTシャツはもっとも必要とされる衣服ではないでしょうか。

汗をかいたらザンプザンプと洗えます。上質の木綿なので素肌に気持ちいいこと言うまでもなし。家庭着としても作業着としても、つりやキャンプなど真夏のパケーションにも大活躍です。カジュアルウエアがナウく見られる昨今、街着にもおしゃれです。秋冬にはインナーとして、古くなったら着心地のよいパジャマにと、活用して下さい。

6、7年前、雨水利用東京国際会議の準備資金にと売り出したTシャツを覚えておいでの人も多いのではないのでしょうか。あまみず坊やのデザインを後ろに置いてご要望に応えての販売です。定番として常に事務局に置く予定。ぜひ、買ってください。お値段は1500円、色は白とグレーの2種類です。事務局までファクスをどうぞ！

新刊案内

『雨の建築学』

日本建築学会編・北斗出版・2500円



このような本はこれまでありませんでした。雨と建築を総合的に説き、説明しています。「いよいよここまで来た」と、こういう本ができたことに、時代の進歩を感じます。

写真やイラストが豊富で、堅苦しい文字はごく少量ですが、内容はしっかりしています。建築家たちが書いた「やってみよう雨水利用」的などころもあって、シロウトにも楽しく読めます。

帯に本書の心構えのような抜き書きがありました。

- ・建築によって「雨水循環系を保全し、育む」必要があること。
- ・建築と敷地に植物のような「生態的な働き」を持たせること。
- ・雨水を積極的に「生かして楽しむ」こと。

事務局だより

田中 清子

すでに梅雨明けした沖縄は別として、日本列島はまだ梅雨本番。災害はごめんこうむりますが、恵みの雨はたっぷり期待しましょう。

さて、お陰さまで総会が無事終了して早や1ヶ月。各々の目標に向けて活動が始まりました。従来の部会中心の活動スタイルを解消して、今後は誰でも提案し、自由に参加できるプロジェクト活動方式に改めていこうと確認されたのが今年度の新しい試みです。この路線に沿って、お金の使い方も組まれています。同封の会計報告をぜひじっくりとご覧下さり、ご理解下さいますようお願いいたします。

そこで早速お目見えしたのが市民の会のTシャツです。デザインは東京国際会議で制作したTシャツのそれを引き継ぎました。会員のユニホームとして着用するのも好し、街中で雨水利用をアピールするのも好し、プレゼントにも好し、装いも新たなTシャツを活用し、愛用して下さい。

定番グッズとして事務局を通して発売致しますので問合せ、申込みお待ちしております。引き続きトレーナーも制作予定です。

8月5日の雨水フェア、都市型洪水に対し、雨水利用の有効性をきっちりと提起していきます。期待がもてますね。

乞ご参加!



編集後記

* 今回の総会で決まったプロジェクト制は部会にも新鮮な風を吹き込んでくれそうです。要するに、それぞれの活動を「この指と〜まれ」にしようということです。広報部活動全体に参加できなくても、何かひとつできることがあったら、そのプロジェクトに参加して活動できます。

* 広報関連では1年にせめて1回は活版印刷で厚さもある「資料集」「活動レポート」を発行することが決まっています。近々プロジェクトチームが組まれます。編集や文章に興味をお持ちの方、どうか奮ってご参加下さい。

* 今後、さまざまなプロジェクトを紙面でご紹介、ご案内したいと思います。

* 4日夕刻の集中豪雨は気象庁の観測史上2番目という降雨量でした。たちまち地下鉄や線路、住宅が冠水し被害がでました。雨水フェア、必ず成功させましょう。

(糸賀)